



さくらネット

勝山中学校だより 第25号
令和4年(2022年)1月14日

「当たり前」のレベルを上げる ～3学期スタート:生徒の皆さんに期待すること～



3学期始業式:1月7日(金)

新しい年を迎え、いよいよ本年度を締めくくる3学期が始まりました。3年生にとっては、いよいよ本格的な受験シーズンの始まりです。

入試、義務教育からの卒業、さらには進学という大きな節目を迎えるにあたり、3年生の皆さんはこれまでになく気持ちを引き締めて3学期を迎えたことと思います。また、新型コロナウイルスの感染が急拡大しているという状況の中で、不安と緊張の続く日々を過ごしていることでしょう。

このような状況で頑張っている3年生の皆さんが安心して学習に集中できるように、私たちがすべきことは、学校全体で感染対策を徹底することと落ち着いた学習環境をつくることです。3年生の皆さんが入試に向けてベストを尽くそうとするのは当然のことですが、2年生、1年生の皆さんも、自分の生活を今一度見直してほしいと思います。

入試のような大切な場では、誰もが緊張するものです。でも、そのような場であっても可能な限り平常心で臨み、ベストの力を発揮するためには、地道な努力を重ねて日々の自分を磨くことが必要です。今日の努力が明日の自分をつくり、その努力の積み重ねが自信となって自分を支えてくれます。今を頑張ることの積み重ねが自分の力となって、将来を切り拓いていくのです。

日々の授業や宿題、家庭学習への取り組み方はどうでしょうか。挨拶や礼、言葉遣い、立ち居振る舞いはどうでしょうか。すべきことから逃げず、向き合い、乗り越えようとしているでしょうか。毎日の生活の中で「当たり前」に身に付いたことは、大切な場であっても自然にできるものです。今の自分の「当たり前」が一般社会で通用するものであるかどうかを、この機会に振り返ってみましょう。

「当たり前」に毎日を過ごしていたら、どこに出ても恥ずかしくない態度が身に付いていた…いつの間にか、みんなの力が伸びていた…そんな学校をつくりましょう。一人ひとりの意識と行動が集団を変え、集団が変わることでさらに個々の力も伸びていきます。

～今年も、変化を恐れず挑戦を続けていきましょう!～

